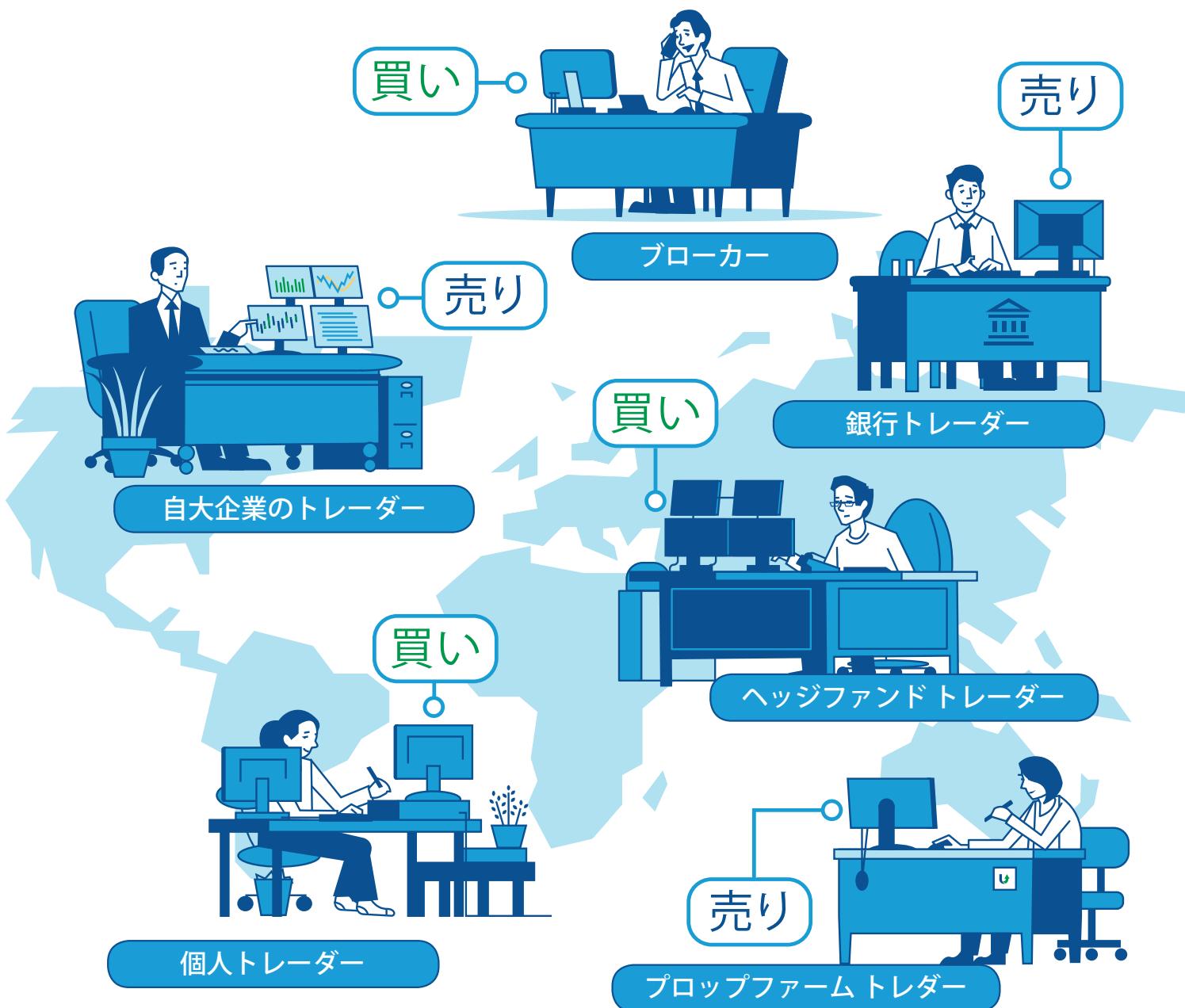




マーケットには様々なタイプのトレーダーが日々活発にトレードしており、以下はそのトレーダーのタイプについて説明したものです。彼らのトレード決定方法を理解することは、マーケットへのエントリー、決済ポイントを改善するのに役立ちます。



異なるタイプのトレーダー

銀行トレーダー

銀行の役割は大口顧客の取引の支援です。

手数料ではなく売りたい顧客と買いたい顧客の価格差で儲けます。銀行トレーダーは自分のポジションも持ってトレードもしますが、このとき顧客からの注文情報がトレーディング機会を見つけるのに助けになります。

銀行トレーダーは一つか少数のマーケットの専門家になります。そして超短期から長期のすべてのトレーディングをします。使う戦略はファンダメンタルズ分析とテクニカル分析を混在させたものを使います。





ヘッジファンドトレーダー

ヘッジファンドトレーダーは通常、マーケットで一番大きなトレーダーです。ヘッジファンドは大口投資家から資金を受けて資金管理手数料をもらいます。そして儲けはあらかじめ決められた配分に基づいて投資家と分け合います。

ヘッジファンドには二つのタイプがあります

ファンダメンタル分析に基づきトレードするヘッジファンドは、数週間とか数ヶ月間の長期間ポジションを保有します。そしてマーケットの需要と供給を分析しながらトレーディング機会を見つけます。

一方、テクニカル分析に基づきトレードするヘッジファンドは、主に数学モデルを使ってトレーディング機会を見つけます。トレードは秒単位から数ヶ月までトレーディング戦略により異なります。

異なるタイプのトレーダー



プロップファームトレーダー

プロップファームはヘッジファンドと似ていますが、資金は機関投資家以外から受けません。プロップファームは通常ヘッジファンドよりも短期のトレードをします。プロップファームはトレーダーに給与は支払わずにトレードの儲けの一定割合を成果報酬として支払います。プロップファームは多くのトレーダーにリスクを分散し、ファンダメンタル戦略とテクニカル戦略の両方を使いトレードします。チームで働いてサポートも得られる上に、成果報酬が大きいため、銀行やヘッジファンドで成功したトレーダーもチームに参加します。



ブローカー

ブローカーは本来仲介業者なので、顧客のトレードの仲介手数料で稼いで自分ではトレードをしません。しかし、中には自分でトレードをするブローカーもいますが、こういう業者は顧客からの買い注文に利幅をのせて売って儲けようとするので危険です。自分ではトレードをしないブローカーを選ぶのが良いでしょう。



個人トレーダー

自分の資金でトレードするのでリスクは高いです。トレーディング戦略を持っている人は稀で殆どはチャート分析だけでトレードします。周りからのサポートもなく一人でもがきながらトレードするので、85%の個人トレーダーは損しています。





大企業のトレーダー

大企業のトレーダーは財務リスクを下げる為にトレードします。トヨタはUSドル/円が下落すると利益が少なくなります。よって利益が減るリスクを回避するためにFXマーケットでUSドル/円を売ります。もう一つは金鉱企業の例で、金の価格が下がると資産が下がり損失に繋がる為にリスク回避手段として金先物市場で時々売りをいれておきます。

このような大企業のトレーダーは頻繁にトレードはしませんが、トレード規模が大きいためマーケットに大きな値動きを与えます。